研　究　者　各　位

国立研究開発法人　宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所長　藤本　正樹

2027 年度共同利用(高速気流総合実験設備)の公募について

宇宙科学研究所に設置されている高速気流総合実験設備の共同利用を下記要領のとおり公募いたします。応募される方は公募システムからお申込み下さい。

1.公募テーマの種類
本実験設備の利用を必要とする空気力学的研究

2.共同利用に供される装置
Ⅰ.超音速風洞
Ⅱ.遷音速風洞
高速気流総合実験設備は、超音速風洞と遷音速風洞の二つの風洞をメインに、その付帯設備として空気源設備、油圧源設備、計装空気源設備、及び計測装置から構成されています。本装置の概要は http://www.isas.jaxa.jp/home/wtlab/をご覧ください。また、設備に関するお問合せは高速気流総合実験設備専門委員会（wtlab(アトマーク)jaxa.jp、（アトマーク）を@にかえてお送りください）までお願いいたします。

3.研究期間　2027 年 4 月～2028 年 2 月
※設備の状況に鑑み，長期間の修理や改修を行う可能性があります．その場合，実験を実施できる期間が短縮されることになります．具体的には，採択後，調整させて頂きます．

4.申込期限　2027 年 2 月 1 日(月)　17 時

5.申込方法　https://www.qs-conductor.com/JAXA_Facility/login.aspx
上記の URL から公募システムにお入りください。
新規アカウントを作成して申込みを行って下さい。
（シンポジウムシステムのアカウントも使用できます）
システムから申込書、体制表をダウンロードし必要事項をご記入のうえ、申込みを行って下さい。

6.共同利用ご応募に際しての注意点
- 申し込みいただいた研究については専門委員会にて審議・選定を行います。最終的な採択については、宇宙科学研究所の予算状況等を検討のうえ、2027 年 4 月（予定）に行います。
- 研究代表者の方は、応募される研究課題に参画する研究者（共同研究者)、大学院生の

2027 年度期初の情報をとりまとめて「体制表」にご記入のうえ、「申込書」と併せて提出ください。

- 海外居住者、または、「みなし輸出」管理の対象となる日本国居住者が実験に参加される場合は、輸出管理に関する審査が必要となります。
- 研究課題が採択された場合、**体制表記載の研究者**（JAXA 職員を除く）、**大学院生**（総合研究大学院大学先端学術院宇宙科学コースの方、東京大学大学院学際理工学講座の方、JAXA の制度により受け入れられている大学院生の方を除く）**の方々は「同意書」、「一般安全教育の受講・確認票」、大学院生の方は「傷害保険（付帯賠償責任保険）の加入証明の写し」も速やかに公募システムから提出願います。**
  （http://www.isas.jaxa.jp/researchers/inter-university/を参照願います。）
- 同意書等の提出後、皆さまをそれぞれ、「大学共同利用システム研究員」、「大学共同利用システム研究員補」として登録し、ユーザーズオフィスで各種サービスをさせていただきます。（同意書、安全教育受講確認書・誓約書の有効期間は 5 年）
- なお、学部生も実験に参加することは可能ですが，大学共同利用システム研究員補には申請できませんので、別途、安全教育受講確認書や傷害保険（付帯賠償責任保険）の加入証明の写し等の書類を提出頂くとともに、**大学での指導教員の現地での監督の下で**参加頂くことになります。
- 宇宙航空研究開発機構外の利用者で実験時に旅費の支給が必要な場合は、必ず申込書Ⅶ.にご記入いただきますようお願いいたします。なお予算枠の制限があるため、ご希望に添えない場合がございますが予めご了承ください。旅費支給のルールは，2026 年度末に開催予定の高速気流総合実験設備専門委員会にて審議される予定です.
- 現在，風洞設備では，故障が頻発しております．順次，可能な対応を行っておりますが，風洞の機能が制約されている場合もございます．課題申請にあたり，設備の状況を知りたい場合は，高速気流総合実験設備専門委員会（wtlab(アトマーク)jaxa.jp、（アトマーク）を@にかえてお送りください）にお問い合わせください.

7. 成果報告について

高速気流総合実験設備の利用により得られた成果をサマリとしてご提出ください。フォーマットについては採択後にご連絡いたします。

※提出期限：2028 年 2 月 29 日（火）

また、共同利用の成果を、毎年 12 月に開催する宇宙航行の力学シンポジウムで御報告頂くことを強く推奨いたします。

8. 個人情報の利用目的

申込者から提供いただいた個人情報は、当該試験施設・設備等の利用、大学共同利用システム研究員及び同研究員補の採択や管理、相模原キャンパスにおける安全や社屋の管理、ユーザーズオフィスにおける各種サービスの実施、機構が主催する関連するシンポジウム等や当該試験施設・設備等の翌年度の公募の案内のために利用します。